

看護連盟とやま

新年号
平成24年1月31日発行

謹賀新年



目次

新年のごあいさつ

富山県看護連盟 会長 稲田まつ江	2
日本看護連盟 会長 清水嘉与子	2
衆議院議員 あべ 俊子	2
参議院議員 高階恵美子	2
平成23年度県支部別会議（目標数値検討会議）	3
各支部における獲得目標数とその根拠	3
各支部における集票対策	4

研修会報告

会員研修会	5
県別リーダーセミナー	5
看護管理者・教育者トップセミナー	6
県外研修	7
看護サミット	7
平成24年6月までの活動予定	7

新年のごあいさつ



富山県看護連盟 会長

稲田 まつ江

新年おめでとうございます。皆さまには清々しく希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日ごろから看護連盟活動にご尽力をいただき感謝申し上げます。

昨年は東日本大震災という日本を揺るがす衝撃が起こりました。直接被害を受けなかった私たちでしたが、皆様には義援金、支援物資などで大変協力をいただきました。被害県の復興にはまだまだ時間を要します。今後も支援を続けていかなければなりません。

さて今年はいよいよ看護の代表を次期参議院選挙に送る活動が始まります。そのための各支部の活性化を強く期待します。県連盟も平成24年度の事業計画を検討中です。皆様のご意見をいただき看護連盟の活性化を図ってまいります。今年もよろしくお願いいたします。



日本看護連盟 会長

清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災は被災地のみならず、日本中に衝撃を与えました。命がけで患者さんを護った被災地の看護師たち、そして全国に広がった支援の輪、素晴らしいかったですね。

こんな国の一大事の中で政権交代後3人目の総理大臣が誕生しましたが、大震災・放射能被害からの復興、沖縄基地問題、TPP問題など野田内閣の目の前には課題山積です。

政治情勢が不安定な中でも高齢化はどんどん進んでいます。みんなが長寿を喜べるようになるためにも、看護職の役割を拡大して、その能力を医療機関の中だけでなく在宅においてもしっかりと活用しなければなりません。そのためにも日本看護連盟は次期参議院選挙に看護の代表を送る活動を進めて参ります。皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



衆議院議員 あべ 俊子

富山県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩めるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

また昨年は国会では様々な委員会でも多くの質問機会を頂け、会期中は地元岡山との往来も含めて毎週多忙を極めました。この国政活動が国民の皆さんの幸せや看護職の皆さんの現場が良い方に変わったという実感につながっていくと信じ、日々の取り組みを重ねてまいりました。

そして今年も変わらず頑張っている所存です。どうか本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



参議院議員 高階 恵美子

富山県看護連盟の皆様、謹んで年始のご挨拶を申し上げます。

昨年は、東日本大震災をはじめ、甚大な災害に見舞われ、これらの災害は、多くの悲しみや苦難をもたらしましたが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこ

そ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思います。今年は、診療報酬・介護報酬の見直しなど社会保障制度に関して大きく動く年です。社会保障の担い手として、看護職の皆様が生き活きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動をしてまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成23年度 県支部別会議（目標数値検討会議）



ねらい：次回参議院議員選挙にむけて全国で25万票をとるために各県、各支部がとるべき票数を明確にするための戦略を立案する。

富山県の提案する目標数は5,000票であり、それに対して各支部が目標数と獲得戦略を明確にする。

1. 各支部における獲得目標数とその根拠

支 部 名	支部長名	会員数(人)	目標数	根 拠
黒部・魚津	中陣多津子	448	750	会員票（450票）＋役員（30名×10票＝300票） 会員1人が1票を獲得
上 市	渡辺富美子	267	360	前回獲得比率134%であった。今回は地元議員の応援要請を強化し、獲得比率1%up135%を見越した目標数
富山東1	高利 仁子	251	375	会員1人が1票獲得250票、会員半数の125人がもう1人獲得する
富山東2	島 真知子	345	500	連盟会員は協会の半数ではあるが各施設ごと全体で取り組むため連盟会員以外も政治活動・選挙活動を行うことにより票につながる。会員1人が1.5票を獲得
富山北1	林 玲子	176	500	会員1人が最低3票を獲得、はがき作戦の強化 期日前投票を推進し棄権防止
富山北2	石原佐裕美	497	700	前は会員数にも及ばなかったため、今回は公的病院の会員60%と支部長の所属病院の会員・賛助会員全員に1～2票を目標とする
富山西1	石井 洋子	224	450	会員1人が2票の獲得 支部長・支部役員が各施設のリーダー・サブリーダーと協力して票を集める
富山西2	菅田 秀恵	483	800	会員の3割が3人ずつ、4割が2人ずつ、残りの3割が1人ずつ確実に獲得票につなげると約800票になるので目標数とした
射 水	釣 朱實	101	380	前回選挙の会員は179人（会員比率20%）今年度会員は減少しているが前回並みの得票数を考えている。会員1人が2人を獲得
高岡・氷見1	中西 美雪	630	670	支部の中の施設と選挙区の関係もあり、支部としての票読みは難しい。高岡市、氷見市での合計を1,000票とし、会員数割合を考えた。会員1人1票を獲得
高岡・氷見2	長守加代子	294	330	会員増加を見込み、今回高岡・氷見1・2支部目標獲得数1,000票のうち当支部は330票とし、会員1人1票獲得を目指す
砺 波	作田 克喜	313	300	前回富山県の獲得数 4,645 砺波支部獲得数 247 前回富山県の会員数 4,200 砺波支部会員数 313 課題は多いが前回よりも努力したい
小矢部	橋本喜久枝	91	150	看護職員の約半数が小矢部市以外の住所である。従って75人が小矢部市住民、1人ひとりが家族に働きかけ2票を獲得することを目標とする
南 砺	清都 静子	112	140	会員1人に1票を目標とする 会員及び賛助会員の6%増員を見込む（140人） 会員のうち南砺市民は約68%であり市外者が多いため票につながらない
合 計		4,232	6,405	

2. 各支部における集票対策



黒部・魚津支部幹事長 三浦 唱子

黒部・魚津支部は、前回推計獲得数690票だった。次回は、会員約450名が必ず1票を投じ、支部役員30名は1人10票をノルマにし、750票を獲得する事を目標に掲げた。未就業看護職の集票の依頼をすること、現職看護職の選挙に参加する期日前集票の看護士を伝え、一緒に期日前投票に行くことの必要性を教えていく。



上市支部幹事長 蓬沢 久子

日頃より会員の皆さまのご協力に感謝している。看護の質が問われている昨今、私たちが働き続けられる環境をつくるため、また現場の声を国政に届けるために看護の代表を送ろう。会員の皆さまの1票1票、そして周囲の方々の強い働きかけがとても重要である。



富山東1支部幹事長 堀田 裕子

来年度の選挙にむけて連盟会員に対する連盟の役割のアピールがあり、前回の反省から今回は期日前投票や投票の雰囲気づくりをしたいと思う。また会員の拡大のため施設訪問を行い現場での問題点を把握し他施設と関わっていききたい。



富山東2支部幹事長 橋本 伸子

各施設、病棟単位等での目標数にむかってリーダー、サブリーダーの活動を活発にしたいと考えている。また公務員会員にも出来る政治活動を理解していただき協力をお願いしたい。看護職の抱える課題に対して政策的に取り組む代表を送り続けられるよう支部長と共に積極的に活動して行きたい。



富山北1支部幹事長 中村 真実

支部内の病院や施設に連盟の活動に協力や賛同してもらえ、活動に働きかける。リーダーやサブリーダーに連盟の活動や役割をサブリナーに理解してもらい協力してもらい、看護職の代表として送り出す必要を認識し、前日投票の有効活用や自分以外の環境作りをしていく。



雷鳥



富山北2支部幹事長 前川 孝子

前回の選挙では、ハガキ・電話作戦を行い票の獲得に努めた。今後は顔と顔が見えるコミュニケーションをモットーに研修会を通して多くの人達と関わって行くこと。私達連盟会員が現場の声をどのように政治の場にあげていくかを考えていきたいと思う。それには、皆様方の研修参加が不可欠なので多くの参加を宜しくお願いしたい。



富山西1支部幹事長 新川 さか江

次の参院選では25万票獲得のために、会員拡大による組織強化や会員の政治参加意識の向上に努める。また、看護単位ごとの投票依頼や熱伝導の原理による活動を行い、職場の同僚や仲のいい知人がその家族とともに投票に行くことで、大切な一票一票を積み上げるように取り組む。



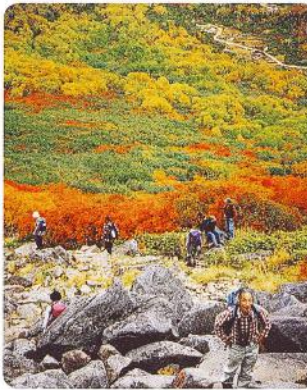
富山西2支部幹事長 田島 佑一

今回の選挙ではベテラン層は勿論、若年層や男性看護士の取り込みに全力を挙げていきたいと思う。そのために、支部研修やワークショップを行い選挙への理解を呼びかける一方、病棟単位で責任者と連携を取り、選挙広告や期日前投票の呼びかけを行うなど、ミクロ戦略にも重点を置いていきたいと思う。



射水支部幹事長 黒川 依子

射水支部では、一昨年に比べ、会員の減少がある。集票増加の課題はまず、会員を増やすことが必須の条件である。そのため、各施設のリーダーを中心に、施設内研修を行ない、看護連盟の活動を知り、会員として頂くこと。また、1人が2人に声をかけ、2人が4人になる熱伝導のように、伝播できる活動を行っていきたいと考える。



田んぼ平



高岡・氷見1支部幹事長 茶谷 和恵

連盟会員数の拡大を行い票につなげる。各施設内での会員拡大、会員数0の施設訪問を行い正会員や賛助会員を増やす。若い方の選挙離れがあるので、呼びかけ、期日前投票に行ってもらおう。会員それぞれの家族や友人、知人、病院出入り業者の方にも投票をお願いする。OBの方にも声をかけし広めていきたい。



高岡・氷見2支部幹事長 小久米 千里

現在は会員拡大を目的として、支部内の施設を訪問し看護連盟への入会をお願いしている。特別・学生・賛助会員への入会も積極的に声掛けをし、会報や支部研修などを通して情報を伝えることで選挙時の集票に繋がると考えている。各施設のリーダー・サブリーダーとも協働し自分達の熱意を伝えていきたい。



砺波支部幹事長 井上 智子

11月30日支部研修会又12月4日は砺波・南砺・小矢部支部合同で研修会を開催。両会場とも稲田会長の講演。〈連盟活動は熱伝導〉の言葉に看護政策実現への浸透と会員増に繋げる今後の支部活動の原点と再確認。勤務終了後と休日にもかかわらず沢山の参加を得た。支部の意気込みを会員・役員共々汲み、この熱伝導を持続していきたい。



小矢部支部幹事長 橋本 喜久枝

看護職員には必ず選挙に行くように働きかける。それには記名式で期日前投票すること。地域の候補者が重なる為、知人(OB会)や家族に対して十分に説明して、理解と協力を得る。市内の施設を訪問して、選挙に協力を得る。市議会議員に働きかけて協力を得る。



南砺支部幹事長 中原 香津美

南砺支部役員一年生です。支部長と共に各施設の役員との連携を密に看護連盟の必要性を浸透し投票行動に結びつける。また自分自身退職後選挙に無関心であったところ声が掛かり、応援しなくてはと思ったので、情報の届かない退職者、友人、知人に積極的に情報を伝え協力を願っていききたい。

研修会報告

1. 会員研修会 平成23年9月17日（土）看護研修センター 参加者：144人



講師 南野知恵子 氏

- 講演 「看護職を取り巻く現状と課題」
講師 日本看護連盟顧問 元参議院議員 南野知恵子 氏
- 講演 「看護連盟の現状と役割・続基礎研修」
講師 富山県看護連盟会長 稲田まつ江



参加者の声

職場の中で、今何が一番問題（課題）だと思いますか

- ①看護要員の不足
- ②サービス残業時間が多い。休日の委員会活動や研修会参加
- ③過重労働・超過勤務である（夜勤が9回以上もある）
- ④新人看護職の指導
- ⑤上司との人間関係のトラブル



2. 県別リーダーセミナー 今年度新しい取り組みとして、「リーダーの自主性促進」を目的にセミナーを実施しました

- 1) 平成23年11月23日（水）看護研修センター 参加者：62人
2) 平成23年12月17日（土）看護研修センター 参加者：54人

講演

- ①「看護連盟の役割」 講師 富山県看護連盟 会長 稲田まつ江
②「看護政策過程入門」
③「リーダーシップ」 } 講師 日本看護連盟 幹事 稲田まつ江
④「看護連盟の今後の活動」



グループワーク①「要望書の作成体験」

グループワーク②「看護連盟のリーダーとして何をどう活動したらいいか」

参加者の声

セミナーを
とおしての感想

- ①要望書を作成する事により、自分たちが何を望んでいるか考える機会になった。
②今まで他人事のように思っていたが、自分達がものを言わなければ何も変わらないと気づかされた。

県連盟への意見

- ①民間病院対象の研修会の企画 ②本日のデータに基づく研修はよかった。
③看護師リーダーシステムの結果を集計し技術、知識の中で政治を若い内から浸透させる。

本部への意見

- ①民間病院の看護師の基本給レベルをあげてほしい。
②早く参議院の候補者を出してほしい。
③ベッドサイドの声を集計して、会員が実感できる活動広報をしてほしい。

平成23年10月26日、県看護連盟と県看護協会が連名で県議会に要望書を持参し説明しました。

平成24年度 要望事項

1. 看護の質の向上について

- (1) 新人看護職員卒後研修制度の充実
- (2) 介護保険施設等で働く看護職員の研修の拡大
- (3) 県内に新たな4年制看護大学設立
- (4) 認定看護師（等）の育成充実等に対する支援事業の推進

3. 看護領域の開発・展開について

- (1) 訪問看護ネットワークセンター支援事業の継続
- (2) 院内助産システムの推進
- (3) 学童期からの「いのちの教室」普及推進
- (4) 感染症対策や自殺予防対策等の健康危機管理及び地域包括ケアシステム構築に向けての保健師の増員
- (5) 大災害発生時の連携体制の構築

2. 看護職が働き続けられる環境づくりについて

- (1) ワーク・ライフ・バランス推進への支援及びナースセンター事業の充実

4. 看護職員確保対策拠点としての富山県看護研修センター増築への助成

3.看護管理者・教育者トップセミナー

平成23年10月8日(土)看護研修センター 参加者:86人

講演 「看護管理者・教育者の政策過程参加促進」

講師 聖路加看護大学名誉教授 岩井 郁子 氏

講演 「看護連盟の現状と役割・統基礎研修」

講師 富山県看護連盟会長 稲田まつ江

意見発表 テーマ 「私の考える看護政策の課題」

助言・講評者:岩井 郁子 氏

コーディネーター:稲田 まつ江

発言者:4名



発言主旨



富山県済生会高岡病院
看護部長
下崎 ふみ子

当院は270床を有する急性期の総合病院である。当院の師長達は素直、活動的で、結束力が強い。今年は電子カルテ更新のために多くの作業が課せられたが、師長達は自主的に院内の調整を行い、他部門から頼りにされ成果をあげた。師長は10人、師長職平均在位年数4.6年、4年未満8人、10年以上が2人と経験年数が少ない。

師長が、いきいきと定年まで働き続けられる職場作りが私の課題である。師長は部署の核であり、元気な師長は職場を活性化させる。元気な師長を育てるために、医療安全や看護管理者研修へ本人の希望を最優先に参加させている。師長は研修参加により自部署の課題を見つけ、その対応を考えることで看護管理者として大きな成長をみせている。

療養病床の現場で日々感じる事に、診療報酬に関する事では、「リハビリの算定制限」がある。現場で患者さんのADLに関わる私たち看護職やリハビリのセラピストたちは、もっと訓練ができたかと疑問を感じずにはいられません。また、看護職の現場の課題では、年休がとれない、給料が安いなどをほぼ全員が感じている。

療養病床では、医療区分が導入されたことにより医療依存度の高い患者さんが増え、確実に仕事量も増大している。私たちがいつも笑顔で患者さんに接することができるよう「ベッドサイドから政治を変える」には、何をどうすべきか。山積する課題を解決するには、ひとりひとりが政治に関心を持ち、政策決定の場に看護職の代表を送り出すことの必要性を現場で働く看護職全員が理解することが一番の近道であり、看護管理者がすぐに出来る事だと思う。



山田温泉病院
総看護師長
立原 佐由子



富山市立看護専門学校
副校長
瀬戸 千春

2年課程から3年課程の看護学校となって6年目である。初年度に急ぎ準備しスタートしたものを再確認し、改善する学校として大切な時期であり、本校の教育目標実現のためには、学生の教育に係わる教員の力量(質)もさることながら教員の数(量)も重要である。教育経験も短く、教員研修未終了、年齢も若い教員構成であるため、産休・育休、研修参加に対する教員確保に苦慮している。教員・教員希望の看護師は、教育への想いが強くても、ライフイベント(子育て等)との両立と7~12ヶ月に渡る長期の教員研修という問題の板挟みとなり苦しむこととなる。また、文部科学省での教員資格は厚生労働省系列の看護学校では通用せず、厚生労働省での資格は文部科学省系列の学校で通用しないという縦割り行政のなかの教員資格の現実もある。資格所有者の増加と看護教員の更なる質の向上のための教員の教育システムは、看護師養成の大きな課題であるように感じる。

当院は、219床(うち精神科60床)を有し、平成21年度から病院経営健全化に向けて病院改革プランに取組み、看護部でも目標管理に沿って良質な看護に努めている。

平成21年度新人モデル定着支援事業に着手すると共に、フィニッシュ哲学を導入し働きやすい環境づくりに取り組んでいる。また、時間外当直夜勤専従看護師導入や産科系混合病棟3-3体制への増員、並びに各部署プラスαの人員配置とし職場定着に繋げている。

今後の課題として、私はまず疲れにくい夜勤労働のあり方について皆で真剣に討論すること、次にWLBを推進する多様な勤務形態を互いに理解し協力し合える職場風土の醸成に取り組むことで、モチベーションが向上しよりよい看護に繋がっていくと考える。



かみいち総合病院
副院長・看護部長
中林 みつ枝

4. 県外研修

県外研修（国会・JNA会館見学）に参加して

富山県高志リハビリテーション病院 酒井 昌子

稲田まつ江富山県看護連盟会長をはじめ36人の会員とともに、県外研修に参加しました。1日目の日本看護協会ビルでは清水嘉与子日本看護連盟会長の歓迎をうけ、日本看護協会ビルの施設を見学しました。表参道に隣接した東京の中でも流行の最先端の地で看護の職能団体の中枢が位置し、日本内外へ情報の発信を行っていることに誇りに感じました。

2日目は国会議事堂の参議院や議員会館の見学、富山県選出の国会議員の方々や看護職の代表・たかがい恵美子、あべ俊子両議員との懇談で、最新の活動報告を受け理解することができました。今回の参加者の中には自ら参加を希望した入職2年目の若い世代の方もおり、この研修をきっかけに政治に関心を持つことが大切と感じたのではないかと思います。

今後とも是非若い世代の参加者が増えることを期待しています。



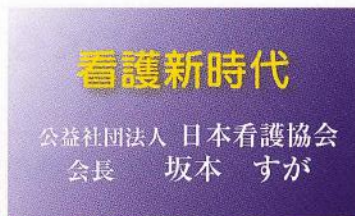
5. 看護サミット

第16回日本看護サミット福岡'11に参加して

南砺支部 長谷 久美子

第16回日本看護サミットは『看護新時代』をテーマとして福岡市で開催され、およそ3,000人が参加し会場は熱気につつまれていました。

初めに、日本看護協会会長坂本すが氏より、「看護新時代」と題して基調講演がありました。少子・高齢・多死社会の到来を迎え現在の医療体制では不十分であり、多くのニーズに対応するためには人員の確保、チーム医療の推進と暮らしを支えるための関わりが重要であると話されました。また、病院だけの努力では限界があり、政策として制度化していくことが重要だと締めくくられました。その後、4つの分科会と2日目に鼎談「新時代の問われる看護の評価」が行われました。今回のサミットに参加させていただき、改めて看護連盟活動の必要性を実感しました。



平成24年6月までの活動予定

項 目		開催日時	場 所
平成24年度通常総会	日本看護連盟	平成24年6月15日(金) 13:00~17:00	東京プリンスホテル
	富山県看護連盟	平成24年6月23日(土) 13:00~16:00	タワー111
平成24年度新人研修	第1回	平成24年4月21日(土) 9:00~12:00	看護研修センター
	第2回	平成24年4月22日(日) 9:00~12:00	看護研修センター
看護協会関係			
平成23年度3月総会	社団法人 富山県看護協会	平成24年3月17日(土)	サンフォールテ
平成24年度通常総会	公益社団法人 日本看護協会	平成24年6月 5日(火)・6日(水)	千葉県 幕張メッセ
職能別交流集会	公益社団法人 日本看護協会	平成24年6月 7日(木)	千葉県 幕張メッセ
平成24年度通常総会	社団法人 富山県看護協会	平成24年6月16日(土)	教育文化会館

平成23年度秋の叙勲

瑞宝単光章

受章おめでとうございます

砂子田 陽子さま (元富山市民病院理事・看護部長)

松井 千賀子さま (元富山通信病院看護部長)

会員募集 皆さまの入会をお待ちしています

一人でも多くの方の入会により

現場の声を国政に反映させましょう。

正会員

年会費 7,000円

日本看護連盟費 5,000円

富山県看護連盟費 2,000円

特別会員

正会員の経歴を有し未就業で看護協会員でない方

年会費 7,000円

日本看護連盟費 5,000円

富山県看護連盟費 2,000円

賛助会員

看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、看護職の方でなくてもどなたでも入会できます。

年会費 1,000円

・学生会員：看護師又は准看護師の資格取得のため就学している看護学生を募集しています。

(年会費無料)

特典

- ①日本看護連盟季刊誌「アンフィニ」をお送りします。
- ②富山県看護連盟機関紙「看護連盟とやま」をお送りします。
- ③富山県看護連盟の研修会や事業に参加できます。

詳しくは 富山県看護連盟へお問い合わせください TEL076-431-7855

会員数

平成23年度
4,232人

複合機でホームページをつくる 「WebメールPlus」!!

1: 原稿を用意する

2: 掲載場所を選ぶ

3: スタートボタン

4: 原稿は
わずか数秒で
ホームページに
アップします!



バンテック・コーポレーション TEL:076(443)9111
www.vantec21.com

ISO9001:2000認証取得

商空間 Retail Space Design デザイン

Space Design and Space Produce
Mitsuno display

株式会社 ミツノ広告 一級建築士事務所

〒930-0803 富山県富山市下新本町1-53
TEL 076-441-8820 FAX 076-433-7624
E-mail/mitsuno@quartz.ocn.ne.jp

編集後記

「看護連盟とやま」新年号をお届けいたします。
今年は辰年。龍は“身を立てて天に昇る”とい
われており看護界の躍動を象徴するに思われ
ます。

今回は会員の皆さんの息吹をしっかりとお伝え
したいと考え編集しました。14支部それぞれ地域
の特性を踏まえた対策が功を奏し有言実行を期待
しています。

広報委員一同



研修会風景